



全国病児保育研究大会へ行ってきました！

7月に岩手県で開催された全国病児保育研究大会にもみくんち職員も参加し、様々なことを学んできました。講演会では、仕事、家庭、育児の両立を迫られている保護者の方々が、孤立感を感じるような「孤育て」ではなく、大変だけど、やりがいがあり、楽しみが増えていく「子育て」を体得していただけるよう支援していくことの大切さや、病児保育の役割として病児のみでなく子どもと保護者、両者への支援が必要であることを学ぶことができました。

また東日本大震災の被災地での開催ということもあり、災害に関する講演もあり、直接被災地まで赴き津波が襲来した高さを目の当たりにし、高台の避難場所では、実際に迫ってくる津波を見た現地の方から貴重なお話を聴くことができました。この辛い教訓を今後、必ず起こる南海トラフ巨大地震の備えに活かしていかなければならないと思っています。

8月の感染症流行状況



感染症5月～7月にかけて流行していた手足口病はだいぶ落ち着いているようです。感染性胃腸炎や咽頭結膜熱（アデノウイルス）は依然として流行しているようで、RSウイルス感染症やマイコプラズマ感染症にかかるお子さんが増えているようです。また、伝染性紅斑（リンゴ病）が流行しているところもあるようです。

伝染性紅斑は別称「**リンゴ病**」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。7日前後の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。



感染対策に咳エチケットを

感染症には咳やくしゃみなどの飛沫で感染するものが多く、特に人の多く集まる場所では感染を防ぐために咳エチケットを心がけるようにするとよいとされています。咳・くしゃみが出ているときには…

- ①マスクを着用する
- ②上着の内側や袖で鼻・口を覆う
- ③ティッシュやハンカチで鼻・口を覆う



上記のようにしましょう。なにも覆わず咳やくしゃみをするとしぶきが2mほど飛び散ってしまいますし、手で覆ってしまうと手についたウイルスなどがその手で触ったものに付着し、感染を広げてしまいます。

といっても、小さなお子さんにマスクをずっと着用させるのは難しいと思います。咳やくしゃみをするときはハンカチ・ティッシュで覆うか、袖で鼻・口を覆うように親子で習慣付けていけるといいですね。また、すぐに手洗いする習慣もつけていきましょう。

お問い合わせは…病児・病後児保育事業所 もみくんち

〒780-0945 高知市本宮町101-1 デイ・ビ・センターこだま2階

TEL(088)849-2184

開設日：日・祝・年末年始除く8:00～18:00

